

# Seagate マネージャ

## ユーザー ガイド

### FreeAgent™ ドライブでの使い方



---

## Seagate マネージャ ユーザー ガイド : FreeAgent™ ドライブでの使い方

### 改訂版 1

© 2008 Seagate Technology LLC. 無断転用を禁ず。Seagate、Seagate Technology、Wave のロゴおよび FreeAgent は、Seagate Technology LLC またはその関連会社の登録商標です。その他すべての商標または登録商標は各社に帰属します。ハード ドライブ容量について言及する場合、1 ギガバイト (GB) は 10 億バイト、1 テラバイト (TB) は 1 兆バイトを表します。なお、記述の容量には、フォーマットなどの機能に使用されデータ保存には利用できない部分も含まれています。さまざまなアプリケーションに関する量的な使用例は、解説を目的としたものです。実際の数量は、ファイル サイズやファイル形式、機能、アプリケーション ソフトウェアによって異なる可能性があります。Seagate は、製品の提供または仕様を事前の通告なく変更する権利を留保します。

Seagate Technology LLC  
920 Disc Drive  
Scotts Valley CA 95066 U.S.A.

# 目次

はじめに.....	5
Seagate マネージャ ソフトウェアのインストール .....	5
Seagate ステータス アイコンについて .....	6
Seagate ステータス アイコンの再表示 .....	7
FreeAgent ドライブ ライト .....	7
ドライブの管理.....	8
[ マイ ドライブ ] ウィンドウの使い方 .....	8
設定 .....	9
電源設定の調整 .....	9
ドライブのテスト .....	10
ソフトウェアのアップデート .....	10
LED 制御の調整 .....	11
ドライブ情報 .....	11
フォルダおよびファイルのバックアップと復元 .....	12
バックアップ機能 .....	12
ドライブのバックアッププラン .....	13
バックアップ プランの作成 .....	13
シンプル バックアップの使用 .....	13
カスタム バックアップの作成 .....	14
ドライブ ローテーション.....	15
バックアップ設定の管理 .....	16
バックアップ設定の編集 .....	16
バックアップ プランの削除 .....	17
バックアップの予定について .....	17
手動でバックアップを実行する .....	18
バックアップ ログの表示 .....	18
ファイルの復元.....	18
過去のバージョンの復元 .....	19
最新バージョンの復元 .....	19

フォルダの同期.....	20
シンプル Sync の使用 .....	21
カスタム Sync の使用 .....	21
Sync 暗号化の使用 .....	23
Sync の完了 .....	23
Sync 設定の編集 .....	24
Sync ステータスの確認 .....	24
Sync 設定の削除 .....	25
自動 Sync の使用 .....	25
自動 Sync の無効化 .....	25
Sync プレビュー ウィンドウの使用 .....	26
自動上書きの使用 .....	27
セキュリティの管理.....	28
暗号化フォルダの作成 .....	28
暗号化フォルダの管理 .....	30
暗号化パスワードの変更 .....	30
暗号化フォルダの削除 .....	31
暗号化フォルダを開く .....	32
ファイルおよびフォルダの復号化 .....	32
暗号化フォルダ内のファイルとフォルダの削除 .....	33
Seagate Secure™ ストレージ デバイス .....	34
ドライブのロック解除 .....	35
ドライブのパスワード変更 .....	36
パスワード ヒントの使用 .....	36
ドライブの消去 .....	39
索引.....	42

# はじめに

FreeAgent™ ドライブ付属の Seagate マネージャ ソフトウェアは、お使いのドライブに、次のような強力なツールを追加します。

- 大切なデータを保護する、データのバックアップと復元機能
- 複数のコンピュータ間でフォルダを同期させる Sync 機能
- 1 つの場所にある複数のファイルやフォルダを暗号化したり、バックアップや同期を暗号化するセキュリティ機能。地域や製品により、ご利用いただけない場合があります。
- 電源管理やソフトウェア アップデート、ドライブ ライトなどを調整する、設定機能

本ガイドに記載の機能は、すべての Seagate FreeAgent ドライブおよび Maxtor OneTouch ドライブで使用でき、Windows XP と Vista のオペレーティング システムに対応しています ( 別途明記されている場合を除く )。

## Seagate マネージャ ソフトウェアのインストール

Seagate マネージャ ソフトウェアをインストールするには

**ステップ1:** ドライブをコンピュータに接続します。

数秒後、ソフトウェアをインストールするオプションを含むメニューが表示されます。

メニューが開かない場合は、**[ マイ コンピュータ ]** を開き、手動でソフトウェアをインストールします。FreeAgent ドライブをダブルクリックし、**InstallSeagateManager (EXE)** ファイルをダブルクリックします。

**ステップ2:** [ メイン メニュー ] ウィンドウが開き、**[ 言語選択 ]** に言語の一覧が表示されます。言語を選択します。

**ステップ3:** **[ Seagate マネージャをインストール ]** をクリックし、インストール ウィザードの手順に従います。インストールが完了すると、Seagate マネージャのアイコンがタスクバーに表示されます。

**ステップ4:** **[ Seagate マネージャ ]** アイコンをダブルクリックし、Seagate マネージャ ソフトウェアを起動します。

## Seagate ステータス アイコンについて

ドライブのインストールが完了すると、コンピュータ デスクトップ上のタスクバーの通知エリアに **Seagate** ステータス アイコンが表示されます。このアイコンから、ドライブのステータスを確認したりドライブの機能を使用できます。

**ステップ1:** **Seagate** アイコンの上にマウス ポインタを合わせると、ドライブのステータスを確認できます。



図1: **Seagate** タスクバー アイコン

情報のポップアップで、ドライブのステータスとドライブ文字を確認できます。

**Seagate** ステータス アイコンの色は、次のようなドライブのステータスを示しています。

青	ドライブは接続されています。
緑	ドライブは接続されています。バックアップが終了し、同期はスタンバイ状態です。
黄	バックアップ中または同期中です
グレー	ドライブは接続されていません。
赤	バックアップまたは同期に失敗しました。

**注:** バックアップまたは同期に失敗すると、次にバックアップまたは同期に成功するまで赤いアイコンが表示されます。バックアップに失敗した理由は、ログ ファイルで確認できます。

**ステップ2:** タスクバー アイコンをクリックすると、**Seagate** ステータス メニューが表示されます。

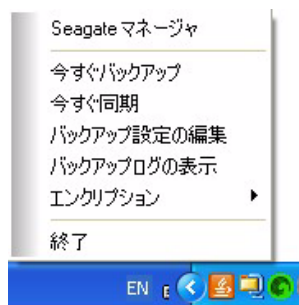


図2: **Seagate** ステータス メニュー

**ステップ3:** 使用したい機能を選択するか、**[ 終了 ]** を選択してメニューを閉じます。

## Seagate ステータス アイコンの再表示

Seagate ステータス メニューを終了すると、タスクバーの通知エリアに表示されていた Seagate アイコンが消えます。Seagate ステータス アイコンをタスクバーの通知エリアに再度表示させるには、

[スタート]>[プログラム]>[Seagate]>[Seagate マネージャ]>[Seagate ステータス アイコン]の順に選択します。

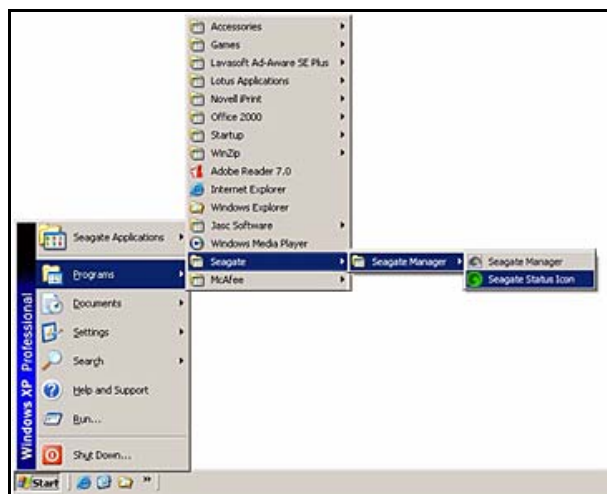


図 3: Seagate ステータス アイコンの再表示

## FreeAgent ドライブ ライト

FreeAgent ドライブのライトが点滅し、ドライブの状態をお知らせします。次の情報は、すべての FreeAgent ドライブに共通です。

ドライブの状態	ライト
オフまたは休止	オフ
休止中	明るさ 90%
動作中 (データ転送中)	明るさ 90% と 20% の間でゆっくり点滅
スタンバイ (ディスク停止中)	明るさ 20%
マウントされていない、またはケーブルが外れている	オフ
エラー	速い点滅

LED ライトの調整については、11 ページの「LED 制御の調整」を参照してください。

# ドライブの管理

Seagate FreeAgent デバイスの管理は、[ マイ ドライブ ] ウィンドウから行います。[ マイ ドライブ ] ウィンドウは、Seagate マネージャを起動するとデフォルトとして開くウィンドウです。

本ソフトウェアの他のウィンドウからコマンドパネルの[ マイ ドライブ ] ボタンをクリックすることで、いつでも[ マイ ドライブ ] ウィンドウを開くことができます。

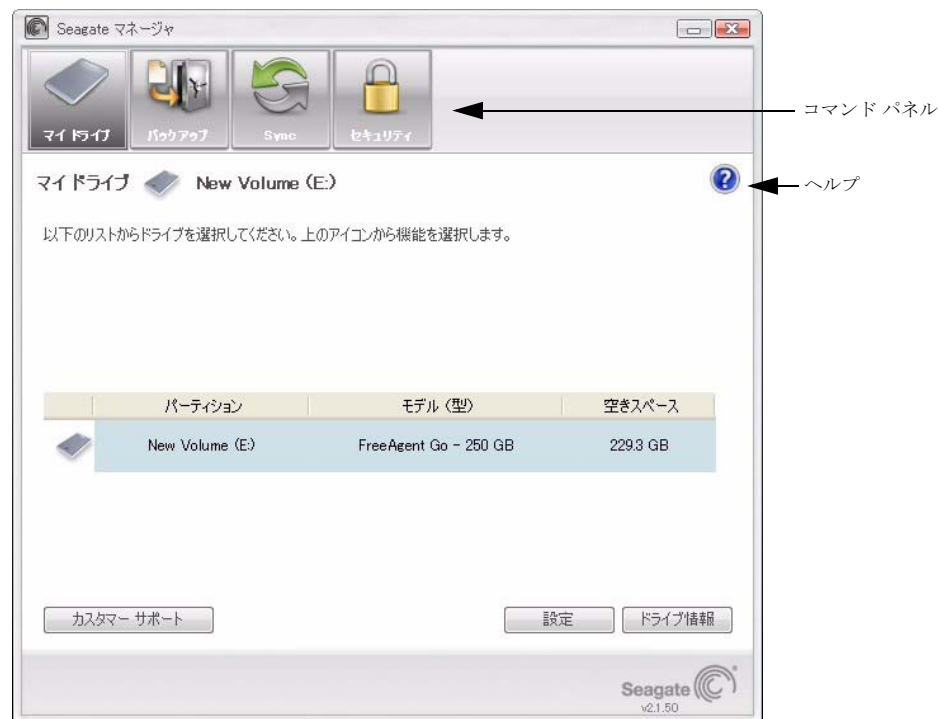


図 4: [ マイ ドライブ ] ウィンドウ

## [ マイ ドライブ ] ウィンドウの使い方

まず[ マイ ドライブ ] ウィンドウでドライブを選択し、続いてそのドライブで使用する機能を選択します。

ウィンドウの一番上にあるコマンドパネルから、Seagate マネージャの機能 (バックアップ、Sync、セキュリティ) を使用できます。

[ マイ ドライブ ] ウィンドウの中央に、接続されているドライブが表示されます。複数のドライブが接続されている場合は、選択できるドライブがすべて表示されます。現在選択されているドライブは、水色にハイライト表示されます (例: 図 4)。

- 別のドライブを選択するには、ドライブのアイコンかパーティション名をクリックします。
- 選択したドライブの詳細設定を行うには、[ 設定 ] ボタンをクリックします。
- 搶/細は、9 ページの「設定」を参照してください。



- **【ドライブ情報】**をクリックすると、選択したドライブの詳細を確認できます。

搶/細は、11 ページの「ドライブ情報」を参照してください。

ヘルプを参照したい場合は、**Seagate** マネージャ ヘルプのアイコンをクリックしてください。ヘルプに問題の解決策が見つからない場合は、**【カスタマー サポート】**ボタンをクリックすると、**Seagate** のサポート ウェブサイトをご利用いただけます。

**注:** 外付けドライブは自動的に検出され、**【マイ ドライブ】**ウィンドウに表示されます。**Seagate** マネージャ ソフトウェアがドライブを検出するのに、数秒かかることがあります。デバイスが表示されない場合は、正しく接続されているかどうか、また電源が入っているかどうかを確認してください。**Seagate** および **Maxtor** の外付けドライブは、すべて検出されます。

## 設定

**【マイ ドライブ】**ウィンドウの下部にある **【設定】** ボタンからは、選択したドライブに対して次の機能を使用できます。

- 電源設定の調整
- **【マイ ドライブ】** のテスト
- LED 制御の調整
- ソフトウェア アップデートの確認

## 電源設定の調整

ドライブがどのぐらいの時間非アクティブ状態になった場合に節電モードに入るかを設定できます。

節電モードに入ると、ドライブの内臓ハードディスクの回転が止まり、消費電力が抑えられます。節電モードでは消費電力が減りますが、再度ドライブを使用しようとした場合に、アクティブになるまで少し時間がかかります。

ドライブを頻繁に使用する方は、ドライブからファイルを開いたり保存したりするたびに作業が中断しないよう、時間を長めに設定することをお勧めします。

ドライブをあまり使用しない方は、ドライブが必要以上に電力を消費しないよう、時間を短めに設定することをお勧めします。

電源設定を調整するには

**ステップ1:** **【マイ ドライブ】**ウィンドウで調整するドライブを選択し、**【設定】**をクリックします。

**【設定】**ウィンドウが開きます。

**ステップ2:** **【電源設定の調整】**をクリックします。

**【電源設定の調整】**ウィンドウが開きます。

**ステップ3:** ドロップダウン メニューから希望の時間を選択します。**【デフォルト】**をクリックすると、最初にドライブに設定されていた電源設定時間に戻ります。

ステップ4: **[適用]**をクリックすると、電源設定が保存されます。

**[電源設定の調整]** ウィンドウに、ドライブの電源設定が変更されたことが表示されます。

ステップ5: **[OK]**をクリックすると、**[マイ ドライブ]** ウィンドウに戻ります。

## ドライブのテスト

ドライブが正常かに動作しているかどうかをテストします。診断ユーティリティを使用して、ドライブ内のデータに影響を与えることなくテストを実行できます。

ドライブをテストするには

ステップ1: **[マイ ドライブ]** ウィンドウでテストするドライブを選択し、**[設定]** をクリックします。

**[設定]** ウィンドウが開きます。

ステップ2: **[マイ ドライブのテスト]** をクリックします。

**[マイ ドライブのテスト]** ウィンドウが開きます。

ステップ3: **[テスト]** をクリックします。

進行状況バーに、テストの進行状況が表示されます。テストが完了すると、結果が表示されます。

テスト中にエラーが発生した場合、問題のあったデバイスのシリアルナンバーと、Seagate からサービスおよびサポートを受ける方法が表示されます。

ステップ4: **[OK]** をクリックします。

## ソフトウェアのアップデート

お使いのソフトウェアにアップデートがある場合、ソフトウェアアップデート機能が自動的にお知らせします。アップデートがないかどうか手動で確認したり、ソフトウェアアップデート機能を無効にすることもできます。

アップデートを確認するには

ステップ1: **[マイ ドライブ]** ウィンドウで、**[設定]** をクリックします。

**[設定]** ウィンドウが開きます。

ステップ2: **[ソフトウェア アップデートの確認]** をクリックします。

**[ソフトウェア アップデート]** ウィンドウが開きます。

デフォルトでは、**[アップデートがあるかどうかを自動的に確認]** が選択されています。

ステップ3: ソフトウェア アップデートを無効にするには、**[アップデートがあるかどうかを自動的に確認]** の選択を解除します。

ステップ4: 手動でアップデートを確認するには、**[今すぐ確認]** をクリックします。

**[ソフトウェア アップデート]** ウィンドウが表示され、お使いのソフトウェアが最新のものかどうかをお知らせします。

最新のソフトウェアがある場合は、このウィンドウからダウンロードできます。最新のソフトウェアに関する詳細は、**[詳細]**をクリックすると確認できます。

## LED 制御の調整

LED 制御機能で、ドライブのライトを調整できます。ドライブのライトが点滅してドライブの動作とステータスを示します。

注: この機能は、*FreeAgent* ドライブのみで使用できます。

ステップ1: **[マイ ドライブ]** ウィンドウで調整するドライブを選択し、**[設定]** をクリックします。

**[設定]** ウィンドウが開きます。

ステップ2: **[LED 制御の調整]** をクリックします。

**[ドライブ ライト]** ウィンドウが開きます。

ステップ3: ドライブ ライトをオフにするには、**[ライトをオフ]** をクリックし、**[適用]** をクリックします。

ドライブ ライトを再びオンにするには、**[ステータスおよび動作ライトの表示]** をクリックし、**[適用]** をクリックします。

次のような状況では、ドライブ ライトが自動的にオンになる場合があります。

- 電源が切れていたドライブに再び電源を入れた場合
- 接続されていなかったドライブを再接続した場合

## ドライブ情報

ドライブ情報機能では、お使いのドライブに関する次の情報を確認できます。

- **ボリューム**

ドライブの名前です。

- **容量**

ドライブの全容量です。

- **空きスペース**

ドライブに残っている空きスペースの量です。

- **ファイル システム**

ドライブの **Windows** ファイル システムです。

ドライブ情報を確認するには

ステップ1: 情報を確認するドライブを **[マイ ドライブ]** ウィンドウで選択し、**[ドライブ情報]** をクリックします。

**[ドライブ情報]** ウィンドウが開きます。

ステップ2: **[OK]** をクリックすると、**[ドライブ情報]** ウィンドウが閉じます。

# フォルダおよびファイルのバックアップと復元

Seagate マネージャを使用して、大切なファイルを FreeAgent ドライブにバックアップできます。

お使いのコンピュータからバックアップしたいファイルを選択し、ドライブにコピーできます。これにより、コンピュータ内のオリジナルファイルが紛失した場合でも、バックアップから簡単に復元できます。

ドライブ内の暗号化されたフォルダにファイルをバックアップすれば、データのセキュリティをさらに高めることができます。フォルダの暗号化には AES 256 ビットが使用され、暗号化パスワードがないとアクセスできなくなります。



図 5: バックアップ

## バックアップ機能

Seagate マネージャのバックアップ機能を使用して、次のようなことができます。

- 選択したフォルダのバックアップのスケジュール設定を行う
- バックアップ設定を編集する
- 即時にファイルのバックアップを開始する
- 複数のドライブに同じバックアップ プランを適用する
- バックアップしたファイルを復元する
- 暗号化したフォルダにファイルをバックアップする

最初のバックアップ完了後に変更があったファイルはあらかじめ設定したスケジュールに沿って自動的に指定のフォルダにバックアップされます。または、[バックアップ] ウィンドウの **[今すぐバックアップ]** をクリックして、手動でバックアップすることも可能です。

注: ただし、Seagate マネージャではロックされたファイルはバックアップできません。

## ドライブのバックアッププラン

コンピュータに接続されているドライブごとにバックアッププランを 1 つ作成できます。次の 2 種類のバックアッププランから希望のものを選択できます。

- **シンプルバックアップ:** XP の **[マイ ドキュメント]** フォルダ、または Vista の **[パーソナル フォルダ]** を、毎日午後 10 時にバックアップ
  - または —
- **カスタム バックアップ:** バックアップするフォルダやバックアップ先、スケジュールを自分で設定します。
  - または —
- **ドライブ ローテーション:** 複数のドライブに同じバックアッププランを適用します。

## バックアップ プランの作成

Seagate マネージャでは、次のようないくつかの方法でバックアップ プランを作成できます。

- シンプル バックアップを使用する
- カスタム バックアップを作成する
- ドライブ ローテーション ( 複数のドライブにバックアップする場合 )

## シンプル バックアップの使用

シンプルバックアップを使用すると、XP の **[マイ ドキュメント]** フォルダ、または Vista の **[パーソナル フォルダ]** が毎日午後 10 時にバックアップされます。

シンプルバックアップを使用するには

**ステップ1:** コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

**[マイ ドライブ]** ページが開きます。

**ステップ2:** バックアップ先となるドライブを選択します。

**ステップ3:** コマンド パネルの **[バックアップ]** をクリックします。

**[バックアップ]** ウィンドウが開きます。

**ステップ4:** **[シンプル バックアップ]** をクリックします。

**[シンプル バックアップの確認]** ウィンドウにシンプル バックアップを選択したことが表示され、このバックアップ プランに名前を付けるよう求められます。

**ステップ5:** バックアップ プランの名前を入力し、**[OK]** をクリックします。

バックアップの予定がオンになります。また、**[バックアップ]** ウィンドウからは、バックアップ設定の編集、バックアップしたファイルの復元、バックアップ プランの削除ができるようになります。また、バックアップ プランの内容も確認できます。

## カスタム バックアップの作成

バックアップするフォルダとスケジュールを自分で設定するには

**ステップ1:** コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

**[マイ ドライブ]** ページが開きます。

**ステップ2:** バックアップ先となるドライブを選択します。

**ステップ3:** コマンド パネルの **[バックアップ]** をクリックします。

**[バックアップ]** ウィンドウが開きます。

**ステップ4:** **[バックアップ]** ウィンドウで、**[カスタム バックアップ]** をクリックします。

**[バックアップ フォルダの選択]** ウィンドウが開きます。

**ステップ5:** バックアップ プランに名前を付け、バックアップするフォルダを選択したら、**[次へ]** をクリックします。

**[バックアップ ファイルの種類]** ウィンドウが開きます。

**ステップ6:** 次の中から、バックアップするファイルの種類を選択します。

- **すべてのファイルの種類**
- **写真、音楽、ビデオ、書類**
- **カスタム**

バックアップの対象に含めるファイルまたは除外するファイルの種類を選択します。

— 数種類のファイルのみを選択してバックアップするには

**1. [これらのファイルの種類を含める]** を選択します。

**2. バックアップするファイルの種類を 1 つずつ選択し、[追加] をクリックして、[含める] リストに追加します。**

— ほぼ全種類のファイルをバックアップするには

**1. [これらのファイルの種類を除外]** を選択します。

**2. バックアップしないファイルの種類を 1 つずつ選択し、[追加] をクリックして、[除外] リストに追加します。**

**注:** 拡張子とはファイル名の後に接尾辞として付いている文字で、ファイル形式を表しています。

**ステップ7:** **[次へ]** をクリックします。

**[バックアップ予定]** ウィンドウが開きます。

**ステップ8:** フォルダをバックアップする日時を選択します。

暗号化したフォルダにファイルをバックアップするよう、設定することもできます。

**注:** バックアップしたファイルを暗号化しない場合は、**手順 11** へ進んでください。

**ステップ9:** バックアップしたファイルを暗号化するには、**[暗号化を有効にする]** をクリックします。

- 暗号化したフォルダをまだ作成していない場合、または、フォルダはあってもパスワードが未設定の場合は、**[フォルダ暗号化]** ウィンドウが開きます。**手順 10** に進みます。
- 暗号化したフォルダをすでに作成し開いた状態にある場合、**[暗号化を有効にする]** のチェックボックスにチェックが入って表示されます。**手順 11** に進みます。

**ステップ10:** パスワードを作成し、同じパスワードをもう一度入力して、**[OK]** をクリックします。

**ステップ11:** **[完了]** をクリックします。

**[バックアップ]** ウィンドウにバックアップの詳細が表示され、バックアップの予定がオンになります。

## ドライブ ローテーション

ドライブ ローテーションでは、複数のドライブに同じバックアッププランを適用できます。このオプションは、特に重要度の高いファイルを複数のドライブにバックアップしてセキュリティを高めたい場合に有効です。

**ステップ1:** まず、最初にバックアップ先となるドライブを接続します。

**ステップ2:** コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

**[マイ ドライブ]** ページが開きます。

**ステップ3:** ドライブを選択します。

**ステップ4:** コマンド パネルの **[バックアップ]** をクリックします。

**[バックアップ]** ウィンドウが開きます。

**ステップ5:** このドライブ用のバックアップ プランを作成します ( まだ作成していない場合 )。

この場合のバックアップ プランは、シンプルでもカスタムでもかまいません。

**ステップ6:** 2 つ目のドライブを接続します。

**ステップ7:** コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

**[マイ ドライブ]** ページが開きます。

**ステップ8:** 2 つ目のドライブを選択します。

**ステップ9:** コマンド パネルの **[バックアップ]** をクリックします。

**[バックアップ]** ウィンドウが開きます。

**ステップ10:** **[ドライブ ローテーション]** をクリックします。

**[ドライブ ローテーションでバックアップ]** ウィンドウが開きます。

**ステップ11:** 2 つ目のドライブに適用するバックアップ プランを選択します。

**ステップ12:** **[OK]** をクリックします。

[バックアップ] ウィンドウが開き、アクティブ プランとして選択したプランと、バックアップの予定がオンになったことが表示されます。

必要に応じて手順 6 ~ 12 を繰り返すことで、バックアップ プランをさらに別のドライブと共有できます。

**ステップ13:** バックアップが実行されるたびに、その時点で接続されている、バックアップ プランを共有するすべてのドライブにファイルがバックアップされます。

ドライブが 1 つしか接続されていない場合は、そのドライブのみにファイルがバックアップされます。すべてのドライブが接続されている場合は、すべてのドライブにファイルがバックアップされます。

## バックアップ設定の管理

バックアップ プランを作成すると、[バックアップ] ウィンドウに次の情報が表示されます。

- アクティブなバックアップ プラン
- バックアップされるファイルの種類
- バックアップが実行される時間
- バックアップの予定 ( オン / オフ ) の設定

## バックアップ設定の編集

バックアップ プランの設定を編集するには

**ステップ1:** コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

[マイ ドライブ] ページが開きます。

**ステップ2:** ドライブを選択します。

**ステップ3:** コマンド パネルの **[バックアップ]** をクリックします。

[バックアップ] ウィンドウが開きます。

**ステップ4:** **[バックアップ]** ウィンドウで、**[バックアップ設定の編集]** をクリックします。

[バックアップ フォルダの選択] ウィンドウに、現在設定されているバックアップ プランの名前と、選択されているフォルダが表示されます。

**ステップ5:** [バックアップ プラン名] の編集やフォルダの選択を完了したら、**[次へ]** をクリックします。

[バックアップ ファイルの種類] ウィンドウに、現在選択されているファイルの種類が表示されます。

**ステップ6:** バックアップするファイルの種類を変更したら、**[次へ]** をクリックします。

[バックアップ予定] ウィンドウに、現在設定されているスケジュールが表示されます。



注: バックアッププラン作成時に暗号化を有効にした場合は、ここでも有効のままになります (チェックが入った状態)。バックアップの暗号化設定は変更できません。バックアップ暗号化の有効/無効を設定できるのは、バックアッププラン作成時のみです。

**ステップ7:** フォルダをバックアップする日時を変更します。

このドライブにドライブローテーション (他のドライブとのバックアッププラン共有) が適用されている場合は、**[次へ]** ボタンが表示されます。適用されていない場合は、**[完了]** ボタンが表示されます。

**ステップ8:** **[次へ]** または **[完了]** をクリックします。

**[完了]** をクリックした場合

**[バックアップ]** ウィンドウに変更済みのバックアップの詳細が表示され、バックアップの予定がオンになります。以上で、バックアップ設定の編集は完了です。

**[次へ]** をクリックした場合

**[バックアップ オプション]** ウィンドウが開き、このプランでバックアップが保存されるドライブのリストが表示されます。次の手順に進みます。

**ステップ9:** リストに表示されているドライブのうち、このバックアッププランから除外するもののチェックをはずし、**[完了]** をクリックします。

## バックアッププランの削除

各ドライブについて作成したバックアッププランは、そのドライブがコンピュータに接続されていなくても削除できます。

ドライブのバックアッププランを削除するには

**ステップ1:** コマンドパネルの **[バックアップ]** をクリックします。

**[バックアップ]** ウィンドウが開きます。

**ステップ2:** **[バックアップ]** ウィンドウで、**[バックアッププランの削除]** をクリックします。

**[バックアッププランの削除]** ウィンドウが開きます。

各ドライブに設定されたバックアッププランのリストが表示されます。

**ステップ3:** 削除したいバックアッププランのチェックボックスをクリックし、**[削除]** をクリックします。

選択したバックアッププランが削除されます。(バックアップされたファイルは削除されません。)

## バックアップの予定について

バックアップの予定を設定すると、変更があったファイルを希望する日時にドライブにバックアップできます。**[バックアップの予定 (オン/オフ)]** スイッチで、あらかじめ設定したスケジュールでのバックアップを有効または無効にできます。

デフォルトでは、バックアップの予定はオンになっています。

予定どおりにバックアップが行われなかった場合

- コンピュータの電源が入っていなかったことが原因の場合は、次にコンピュータが起動したときに自動的に実行されます。
- ドライブが接続されていなかったことが原因の場合は、次にドライブが接続されたときに自動的に実行されます。

## バックアップの予定をオフにする

バックアップの予定をオフにするには

- [バックアップ] ウィンドウで、[バックアップの予定] の [オフ] ボタンをクリックします。

## 手動でバックアップを実行する

バックアップの予定がオンかオフかに関係なく、また **Seagate** マネージャを起動しているかどうかにかかわらず、いつでも手動でファイルをバックアップできます。

手動でバックアップをドライブに保存するには

- [バックアップ] ウィンドウの右下にある [今すぐバックアップ] をクリックします。  
— または —
- **Seagate** ステータス アイコン メニューから [今すぐバックアップ] を選択します。  
**Seagate** ステータス アイコンが黄色に変わり、バックグラウンドでバックアップが実行されます。バックアップが完了すると、アイコンが緑色に変わります。

**Seagate** ステータス アイコンの上にマウス ポインタを合わせると、現在のバックアップに関する情報を確認できます。メッセージが表示され、バックアップに関する情報を確認できます。

## バックアップ ログの表示

バックアップ ログは、バックアップの履歴をテキスト ベースのレポートにしたものです。

ドライブのバックアップ ログを表示するには

**Seagate** マネージャの [バックアップ] ウィンドウで [バックアップ ログの表示] をクリックします。

— または —

- ステップ1: タスクバーの通知エリアにある **Seagate** ステータス アイコンをクリックして、**Seagate** ステータス メニューを表示させます。
- ステップ2: [バックアップ ログを表示] をクリックすると、システム バックアップの履歴を記述したテキスト ファイルが開きます。

注: バックアップ ログは英語のみです。

## ファイルの復元

**Seagate** マネージャでは、指定したフォルダにファイルをバックアップする場合、ドライブに保存した更新済みファイルの、更新前または過去のバージョンを最高 10 まで保存できます。また、

バックアップ ファイルが最後に変更された日付を基に過去のバージョンを復元したり、ファイルの最新バージョンを復元することもできます。

注: ただし、バックアップ ファイルを暗号化した場合は、バックアップされた日付に基づく復元のみが可能です。

## 過去のバージョンの復元

ドライブにバックアップしたファイルのうち、特定の過去のバージョンを指定して復元するには

**ステップ1:** コマンド パネルの **【マイ ドライブ】** をクリックします。

【マイ ドライブ】 ページが開きます。

**ステップ2:** ドライブを選択します。

**ステップ3:** **【バックアップ】** をクリックします。

【バックアップ】 ウィンドウが開きます。

**ステップ4:** **【ファイルの復元】** をクリックします。

**ステップ5:** 【バックアップを復元】 ウィンドウが開きます。

**ステップ6:** **【過去のバージョンのバックアップ ファイルを復元する】** をクリックして、以前のバージョンのファイルを復元します。

【復元】 ウィンドウが開きます。

**ステップ7:** ファイルと復元するバージョンを選択して、**【復元】** をクリックします。

揀 E ィンドウ下部にある **【復元先フォルダ】** セクションで指定されている場所に、選択したバージョンのファイルが復元されます。

## 最新バージョンの復元

ドライブにバックアップしたファイルのうち、最新のバージョンを復元するには

**ステップ1:** コマンド パネルの **【マイ ドライブ】** をクリックします。

【マイ ドライブ】 ページが開きます。

**ステップ2:** ドライブを選択します。

**ステップ3:** **【バックアップ】** をクリックします。

【バックアップ】 ウィンドウが開きます。

**ステップ4:** **【最新のバージョンのバックアップ ファイルを復元する】** をクリックして、最新バージョンのファイルを復元します。

ドライブ上の **Seagate** バックアップ フォルダが表示されます。

**ステップ5:** ファイルを検索し、復元したい場所にドラッグします。

# フォルダの同期

**Sync**を使用すると、重要なファイルを複数の場所で簡単に最新の状態に維持できます。コンピュータ上のフォルダを **1** つ以上選択して同期します。ファイルが変更されたり、フォルダにファイルが追加されると、自動的に **FreeAgent** ドライブにコピーされます。

また、異なるコンピュータ上のフォルダを同期することもできるため、会社のコンピュータと自宅のコンピュータ間でファイルを移動する場合に便利です。

**注:** **XP** を実行するコンピュータと **Vista** を実行するコンピュータ間でファイルを同期することはできません。

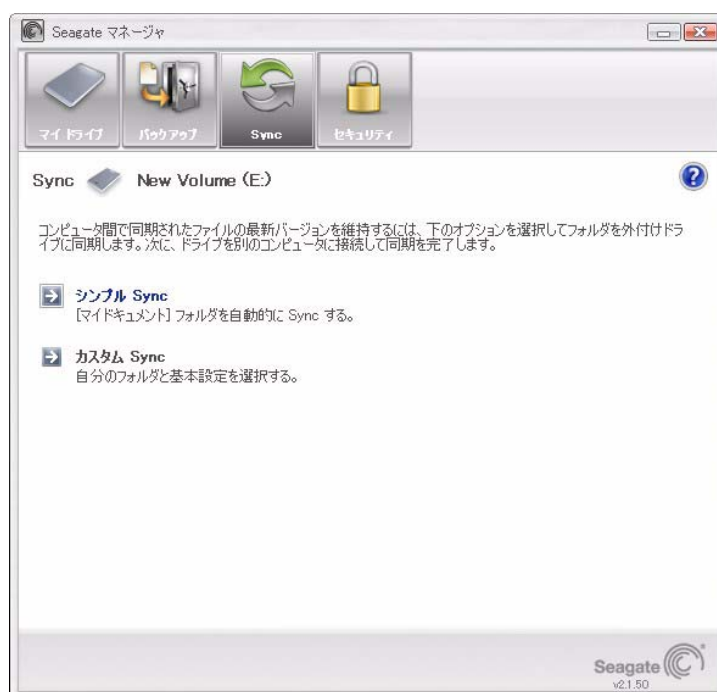


図 6: Sync

Sync には次のオプションがあります。

シンプル Sync	カスタム Sync
XP の【マイドキュメント】フォルダまたは Vista の【パーソナル フォルダ】を同期	1 つ以上ファイルを選択して同期
すべてのファイルの種類を同期	含めるまたは除外するファイルの種類を選択して同期
自動同期	自動または手動から選択して同期
古いファイル バージョンを常に上書き	同期およびコピー、置換の規則を設定
	同期ファイルを暗号化

注: Sync が正常に機能するようにするため、Sync に含まれるすべてのコンピュータが正確に同じ時間に設定されていることを確認してください。

## シンプル Sync の使用

シンプル Sync は、XP の【マイ ドキュメント】フォルダまたは Vista の【パーソナル フォルダ】に存在するすべてのファイルの種類を自動的に同期するように事前設定されています。古いファイルバージョンは常に新しいファイルのバージョンによって上書きされます。

シンプル Sync を選択するには

ステップ1: コマンド パネルの【マイ ドライブ】をクリックします。

ステップ2: ドライブを選択します。

ステップ3: コマンド パネルの【Sync】をクリックします。

【Sync】ウィンドウが開きます。

ステップ4: 【シンプル Sync】をクリックします。

【シンプル Sync の確認】ウィンドウが開きます。

これで、XP の【マイ ドキュメント】フォルダまたは Vista の【パーソナル フォルダ】がドライブと同期されるようになります。ドライブを別のコンピュータに接続して、同期を完了します。

## カスタム Sync の使用

カスタム Sync を使用すると、同期するフォルダとファイルの種類を指定し、Sync と暗号化の設定を選択することができます。

カスタム Sync を設定するには

ステップ1: コマンド パネルの【マイ ドライブ】をクリックします。

ステップ2: ドライブを選択します。

ステップ3: コマンド パネルの【Sync】をクリックします。

【Sync】ウィンドウが開きます。

ステップ4: 【カスタム Sync】をクリックします。

【フォルダ設定】ウィンドウが開きます。

ステップ5: 同期するフォルダを選択します。

選択するフォルダの数に制限はありませんが、それらのフォルダはすべて同じドライブ (パーティション) 上に存在する必要があります。

ステップ6: 【次へ】をクリックします。

【ファイルの種類】ウィンドウが開きます。

ステップ7: 同期するファイルの種類を選択します。

- すべてのファイルの種類
- 写真、音楽、...

次のいずれかまたはすべてを同期できます。

写真: JPG、GIF、TIFF など

— 音楽: MPG、AIFF、WAV、RA、WMA など

— ビデオ: AVI、MOV、MPEG、QT、RM、WMV など

— 文書: DOC、XLS、RTF、TXT、PDF、PPT など

- **カスタム**

カスタム選択では、ファイルの拡張子を指定することによって、同期に含めるまたは除外する特定のファイルの種類を選択できます。

特定のファイルの種類の同期を許可するには

**3. [これらのファイルの種類を含める] を選択します。**

**4. 含めるファイルの種類を 1 つずつ選択し、[追加] をクリックして [含める] リストに移動します。**

同期から特定のファイルの種類を除外するには

**1. [これらのファイルの種類を除外] を選択します。**

**2. 除外するファイルの種類を 1 つずつ選択し、[追加] をクリックして [除外] リストに移動します。**

*注: 拡張子とはファイル名の後に接尾辞として付いている文字で、ファイル形式を表しています。*

**ステップ8:** 同期するファイルの種類を選択したら、**[次へ]** をクリックします。

[Sync オプション] ウィンドウが開きます。

**ステップ9:** Sync オプションを選択します。

- **Sync 規則**

— ファイルが変更されるたびに自動的に Sync

— [Sync] ウィンドウの **[今すぐ同期]** ボタンを使用して手動で Sync

- **コピーと置換の規則**

— 古いファイルのバージョンを常に新しいバージョンと置換

— ファイルを上書きする前に確認

- **Sync 暗号化**

— ドライブ上の同期ファイルを自動的に暗号化

[Sync 暗号化] を選択する前に暗号化を設定しておく必要があります。搶/細は、23 ページの「Sync 暗号化の使用」を参照してください。

*注: [Sync 暗号化] は Sync の初期設定時にのみ選択できます。後で同期ファイルを暗号化する決定をした場合、現在の Sync 設定を削除して新たに設定をし直す必要があります。*

**ステップ10:** Sync オプションを設定したら、**[完了]** をクリックします。

[Sync] ウィンドウが開きます。

## Sync 暗号化の使用

コンピュータ間で同期を行う際に同期ファイルを自動的に暗号化し、ファイルの安全性を確保できます。号化されたすべてのフォルダは「暗号化フォルダ」と呼ばれる同一のフォルダに保存されます。そのため、Sync 暗号化パスワードには暗号化パスワードと同じものが使用されます。

Sync 暗号化を有効にする前に、**[セキュリティ]** ウィンドウで暗号化を設定しておく必要があります。暗号化が設定されていない場合は、**[Sync オプション]** ウィンドウの **[Sync 暗号化]** オプションがグレー表示されます。

暗号化を設定して Sync 暗号化を有効にするには

**ステップ1:** **[Sync オプション]** ウィンドウで **[キャンセル]** をクリックします。

**ステップ2:** コマンド パネルの **[セキュリティ]** をクリックします。

**ステップ3:** **[暗号化]** をクリックし、暗号化フォルダの設定手順に従います。

**ステップ4:** コマンド パネルの **[Sync]** をクリックします。

**ステップ5:** **[カスタム Sync]** をクリックし、Sync フォルダとファイルの種類設定を選択します。

これ以降、**[Sync オプション]** ウィンドウを表示した際に **[Sync 暗号化]** がグレー表示されなくなります。

**ステップ6:** **[Sync 規則]** および **[コピーと置換の規則]** を設定し、**[Sync 暗号化]** を選択します。

**ステップ7:** **[完了]** をクリックします。

これで、暗号化で設定したパスワードで、同期フォルダが自動的に暗号化されるようになります。

**注:** Sync 暗号化を選択した場合、コンピュータ上の同期フォルダにアクセスするには、すべてのユーザーが暗号化パスワードを使用する必要があります。

## Sync の完了

Sync を完了するには、Sync 元のコンピュータからドライブを削除し、選択したフォルダの Sync 先である別のコンピュータにそのドライブを接続する必要があります。ドライブに接続して Sync に含めるコンピュータの数に制限はありません。

2 台目のコンピュータにドライブを初めて接続し、Sync を完了する際に、そのコンピュータのどの場所に同期フォルダを配置するかを尋ねられます。

Sync を完了するには

**ステップ1:** コンピュータからドライブを切断します。

**ステップ2:** ドライブを別のコンピュータに接続します。

**(a)** XP の **[マイ ドキュメント]** フォルダ (または Vista の **[パーソナル フォルダ]**) 以外のフォルダを同期した場合、**[Sync フォルダ]** ウィンドウが開きます。

**(b)** XP の **[マイ ドキュメント]** フォルダ (または Vista の **[パーソナル フォルダ]**) を同期した場合、**[「マイ ドキュメント」を同期]** (または **[「パーソナル フォルダ」を同期]**) ウィンドウが開きます。

(c) XP の [マイ ドキュメント] フォルダ (または Vista の [パーソナル フォルダ]) とその他のフォルダを同期した場合、上記の両方のウィンドウが開きます。

ステップ3: このコンピュータ上で同期フォルダを格納する場所を各ウィンドウで選択し、**[OK]** をクリックします。

これ以降、選択したフォルダは、コンピュータにドライブを接続するたびにドライブ上のバージョンと自動的に同期されます。

## Sync 設定の編集

Sync 設定を変更するには

ステップ1: コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

ステップ2: ドライブを選択します。

ステップ3: コマンド パネルの **[Sync]** をクリックします。

[Sync] ウィンドウが開きます。

ステップ4: **[Sync 設定の編集]** をクリックします。

[フォルダ設定] ウィンドウに現在のフォルダ設定が表示されます。

ステップ5: Sync にフォルダを追加するか、Sync からフォルダを削除し、**[次へ]** をクリックします。

Sync から削除されたフォルダは、ドライブから削除されます。

[ファイルの種類] ウィンドウに現在のファイルの種類の設定が表示されます。

ステップ6: 希望する変更を適用し、**[次へ]** をクリックします。

[Sync オプション] ウィンドウに現在の規則設定が表示されます。

ステップ7: 希望する変更を適用し、**[完了]** をクリックします。

## Sync ステータスの確認

Sync のステータスを確認するには

ステップ1: コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

ステップ2: ドライブを選択します。

ステップ3: コマンド パネルの **[Sync]** をクリックします。

[Sync] ウィンドウが開きます。

ステップ4: **[Sync ステータスの確認]** をクリックします。

[Sync ステータス] ウィンドウが開きます。

Sync が設定されたコンピュータの名前、前回の Sync 実行日、自動 Sync の設定 (**[オン]** または **[オフ]**) が一覧表示されます。

ステップ5: **[OK]** をクリックして [Sync] ウィンドウに戻ります。



## Sync 設定の削除

すべての Sync 設定を削除して新しい設定を作成するには

- ステップ1: コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。
- ステップ2: ドライブを選択します。
- ステップ3: コマンド パネルの **[Sync]** をクリックします。  
[Sync] ウィンドウが開きます。
- ステップ4: **[Sync 設定の削除]** をクリックします。  
[Sync 設定の削除の確認] ウィンドウが開きます。
- ステップ5: **[削除]** をクリックします。  
元の [Sync] ウィンドウが開きます。
- ステップ6: 新しい Sync 設定を作成するには、**[シンプル Sync]** または **[カスタム Sync]** を選択します。

*注: 撈ドライブ上の Seagate Sync フォルダにある同期フォルダを削除した場合、それぞれ「SyncRecycleBin01」および「SyncRecycleBin02」フォルダの最新の 2 つのバージョンを回復できます。*

## 自動 Sync の使用

自動 Sync 機能は、同期フォルダのファイルの変更を継続的に追跡し、古いバージョンを新しいバージョンで上書きすることによって、改訂バージョンを自動的に同期する機能です。自動 Sync 中はドライブが接続されている必要があります。

デフォルトでは、自動 Sync はオンになっています。

## 自動 Sync の無効化

自動的にファイルを同期する代わりに、自動 Sync をオフにし、ファイルが同期されるタイミングをコントロールすることができます。

自動 Sync をオフにするには

- ステップ1: コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。
- ステップ2: ドライブを選択します。
- ステップ3: コマンド パネルの **[Sync]** をクリックします。  
[Sync] ウィンドウが開きます。
- ステップ4: [Sync] ウィンドウで、**[自動 Sync]** の **[オフ]** ボタンをクリックします。
- ステップ5: 自動 Sync がオフの場合に手動で同期するには
  - [Sync] ウィンドウの右下にある **[今すぐ同期]** をクリックします。

— または —

- 接続されているすべてのドライブで **Sync** を実行するには、**Seagate** の [ステータス] メニューで **[今すぐ同期]** を選択します。

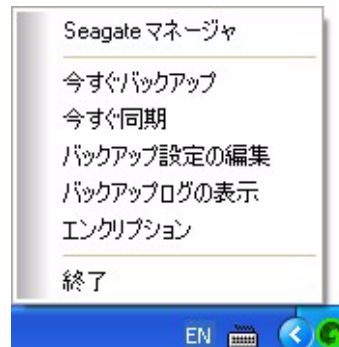


図 7: 今すぐ同期

[Sync プレビュー] ウィンドウが開きます。

上書きが予定されているファイルが一覧表示されます。

古いファイルのバージョンが新たに同期されたバージョンで上書きされないようにするには

- **[オン]** 列のファイルのチェックを外します。

## Sync プレビュー ウィンドウの使用

同期ファイルを管理するには、[Sync プレビュー] ウィンドウを使用します。

- ファイルの追加または削除
- 既存のファイル バージョンを上書きするかどうかの決定
- 保存する同期ファイルのバージョンに関する競合の解決

同じファイルが異なるコンピュータ上で同時に編集された場合、保存するファイル バージョン間で競合が発生します。変更されたバージョンを含むドライブが、同一ファイルの別の変更バージョンを含むコンピュータに接続されると、[Sync プレビュー] ウィンドウが開きます。

[Sync プレビュー] ウィンドウを使用するには

**ステップ6:** **[オン]** チェックボックスを使用して、**Seagate** マネージャで上書きまたは追加、削除するファイル バージョンを指定します。

**ステップ7:** **[今すぐ同期]** をクリックし、同期を完了します。

[Sync の進行状況] ウィンドウに同期の進行状況が表示されます。

**ステップ8:** 同期が完了したら、**[OK]** をクリックしてウィンドウを閉じます。

## 自動上書きの使用

自動上書き機能がオンの場合、古いバージョンのファイルは常に新しいバージョンに置換されます。

自動上書き機能がオフの場合、**Seagate** マネージャに **[Sync プレビュー]** ウィンドウが表示され、ファイルの古いバージョンを新しいバージョンで上書きするかどうかを指定できます。

# セキュリティの管理

暗号化機能は、1つの場所(暗号化フォルダ)にある複数のファイルとフォルダを暗号化します。暗号化フォルダのパスワードを作成して設定したら、希望のファイルとフォルダをそのフォルダにドラッグアンドドロップすることでセキュリティを確保できます。

ファイルは暗号化の際に、移動ではなくコピーされます。暗号化されていない元のファイルまたはフォルダは、そのままコンピュータ上に残され、暗号化されたバージョンが **FreeAgent** ドライブに保存されます。完全なセキュリティを確保するには、暗号化されていないバージョンをコンピュータから削除する必要があります。

暗号化されていない元のファイルを削除せずに、暗号化されたバージョンを同じ場所に復号化しようすると、暗号化されていない元のファイルが上書きされる旨が通知されます。

**注:** 暗号化機能は、地域や製品により、ご利用いただけない場合があります。



図 8: セキュリティ

## 暗号化フォルダの作成

ステップ1: コマンドパネルの【マイ ドライブ】をクリックします。

ステップ2: ドライブを選択します。

ステップ3: コマンドパネルの【セキュリティ】をクリックし、【セキュリティ】ウィンドウを開きます。

【セキュリティ】ウィンドウが開きます。

ステップ4: [セキュリティ] ウィンドウで **[暗号化]** をクリックします。

[暗号化パスワード] ウィンドウが開きます。

ステップ5: 暗号化フォルダを開くときに使用するパスワードを入力し、再入力します。

パスワードの長さは 6 文字以上で、文字と数字がそれぞれ 1 文字ずつ以上含まれている必要があります。このパスワードは、暗号化フォルダに保存されたファイルとフォルダにアクセスするときに必要となるため、覚えやすいパスワードを使用してください。暗号化パスワードは暗号化フォルダに付けられるものであり、暗号化フォルダ内のファイルやフォルダには適用されません。また、パスワードを削除したり変更する際は、暗号化フォルダを閉じておく必要があります。

ステップ6: **[フォルダの作成]** をクリックします。

暗号化フォルダが開きます。

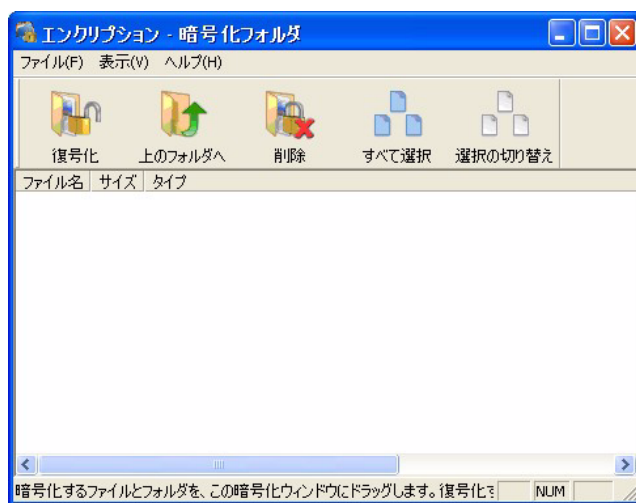


図 9: 暗号化フォルダ

ステップ7: 他のフォルダの場合と同様に、暗号化フォルダにファイルとフォルダをドラッグします。

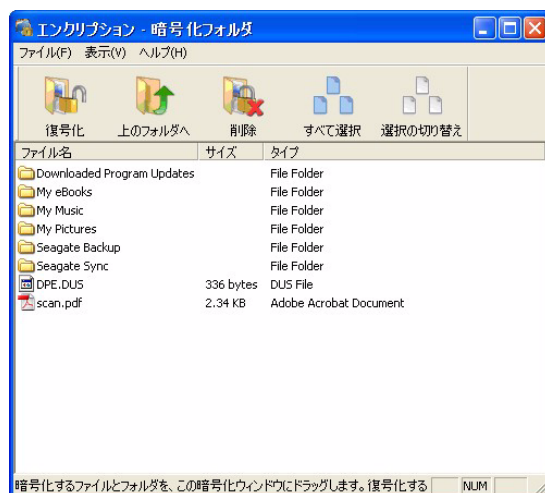


図 10: ファイルやフォルダがドラッグされた暗号化フォルダ

ステップ8: 暗号化されていない元のファイルとフォルダをコンピュータから削除します。

ステップ9: ファイルの暗号化を終了したら、暗号化フォルダを閉じます。

注: 暗号化されていない元のバージョンをコンピュータから削除しない限り、暗号化されたファイルとフォルダについて完全なセキュリティは確保されません。

## 暗号化フォルダの管理

暗号化パスワードの変更、暗号化されたフォルダの削除、暗号化フォルダから別の場所へのファイルとフォルダの移動を行うことができます。

## 暗号化パスワードの変更

暗号化パスワードを変更するには

ステップ1: コマンド パネルの【マイ ドライブ】をクリックします。

ステップ2: ドライブを選択します。

ステップ3: コマンド パネルの【セキュリティ】をクリックします。

【セキュリティ】ウィンドウが開きます。

ステップ4: 【暗号化】をクリックします。

【暗号化の管理】ウィンドウが開きます。

ステップ5: 【パスワード変更】をクリックします。

2つある【パスワード変更】ウィンドウのうち、最初のウィンドウが開きます。

ステップ6: 現在の暗号化パスワードを入力し、**[次へ]**をクリックします。

2つ目の**[暗号化パスワードの変更]**ウィンドウが開きます。

ステップ7: 新しいパスワードを入力し、再入力して、**[変更]**をクリックします。

**[暗号化パスワードの変更]**の確認ウィンドウが開きます。

ステップ8: **[OK]**をクリックします。

**注:** 暗号化パスワードは忘れた場合に回復する方法はありません。暗号化パスワードを忘れた場合は、暗号化フォルダを削除する必要があります。

## 暗号化フォルダの削除

**Warning:** 暗号化フォルダを削除すると、そのフォルダに保存されているデータも削除されるため、データを保持するには、暗号化フォルダを削除する**前に**、暗号化フォルダからファイルとフォルダを移動する必要があります。

暗号化フォルダを削除するには

ステップ1: コマンドパネルの**[マイ ドライブ]**をクリックします。

ステップ2: ドライブを選択します。

ステップ3: コマンドパネルの**[セキュリティ]**をクリックします。

**[セキュリティ]**ウィンドウが開きます。

ステップ4: **[暗号化]**をクリックします。

**[暗号化の管理]**ウィンドウが開きます。

ステップ5: **[暗号化フォルダの削除]**をクリックします。

**[暗号化フォルダの削除]**ウィンドウが開きます。

ステップ6: **[暗号化フォルダを開く]**をクリックし、暗号化フォルダに保存されているファイルとフォルダを復号化し保存してから暗号化フォルダを閉じます。

詳細は、32 ページの「ファイルおよびフォルダの復号化」を参照してください。

ステップ7: **[暗号化フォルダの削除]**ウィンドウで**[削除]**をクリックします。

**[暗号化フォルダの削除]**警告ウィンドウが開き、暗号化フォルダの削除を確認するよう求められます。

ステップ8: **[削除]**をクリックします。

**[暗号化フォルダの削除]**確認ウィンドウが開きます。

ステップ9: **[OK]**をクリックします。

## 暗号化フォルダを開く

暗号化フォルダを開くには

- ステップ1: コマンド パネルの【マイ ドライブ】をクリックします。
- ステップ2: ドライブを選択します。
- ステップ3: コマンド パネルの【セキュリティ】をクリックします。  
【セキュリティ】ウィンドウが開きます。
- ステップ4: 【セキュリティ】ウィンドウで【暗号化】をクリックします。  
【暗号化の管理】ウィンドウが開きます。
- ステップ5: 【暗号化フォルダを開く】をクリックします。  
【フォルダのロック解除】ウィンドウが開きます。
- ステップ6: パスワードを入力し、【OK】をクリックします。  
暗号化フォルダが開きます。

注: Seagate マネージャを使用するユーザー アカウントで一度、暗号化フォルダを開くと、パスワードはコンピュータに保存され、それ以降の作業ではパスワードを再入力する必要はありません。ただし、別のコンピュータまたはユーザー アカウントを使用して暗号化フォルダを開く場合は、パスワードを入力する必要があります。

## ファイルおよびフォルダの復号化

ファイルまたはフォルダを復号化し、暗号化フォルダから移動するには

- ステップ1: 復号化するアイテムを暗号化フォルダで選択し、ツールバーの【復号化】をクリックします。

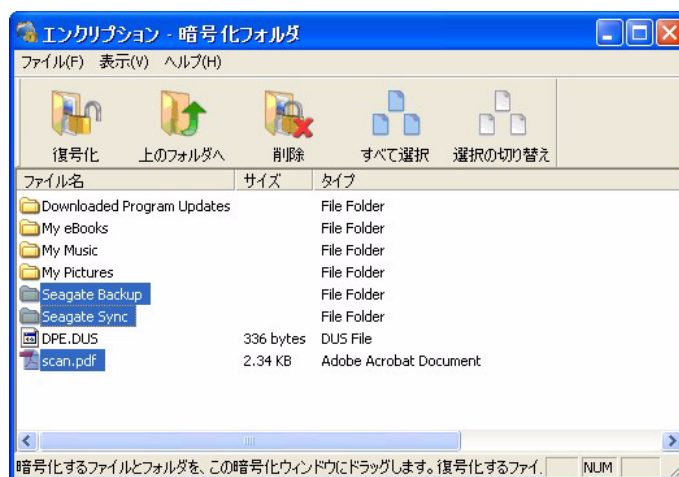


図 11: 暗号化フォルダ - フォルダの復号化



【宛先ディレクトリの選択】ウィンドウが開きます。

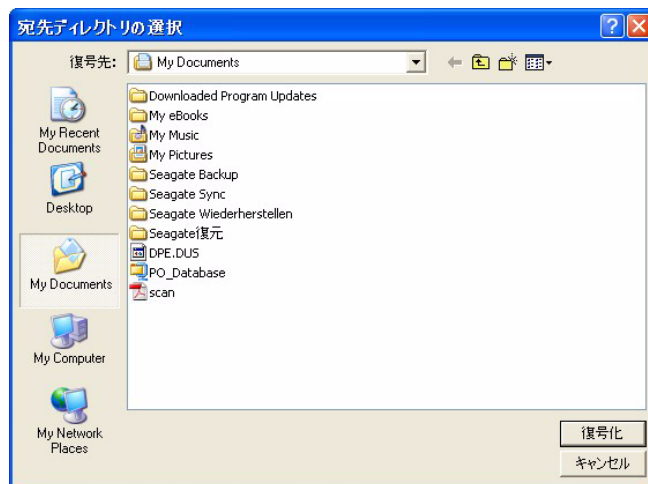


図 12: 宛先ディレクトリの選択

ステップ2: 宛先を選択して【復号化】を選択します。

選択した場所に、複合化されたアイテムのコピーが配置されます。

暗号化されたバージョンのアイテムは、暗号化フォルダにそのまま保持されます。これらのアイテムを暗号化フォルダから削除するには、暗号化フォルダのツールバーで【削除】オプションを選択します。

注: コンピュータ上の任意の場所にファイルをドラッグアンドドロップして移動することもできます。ただし、フォルダはドラッグアンドドロップできないため、復号化の操作を行って暗号化フォルダから削除する必要があります。

## 暗号化フォルダ内のファイルとフォルダの削除

暗号化フォルダ内のファイルとフォルダを削除するには

ステップ1: 暗号化フォルダから削除するアイテムを選択し、ツールバーの【削除】をクリックします。

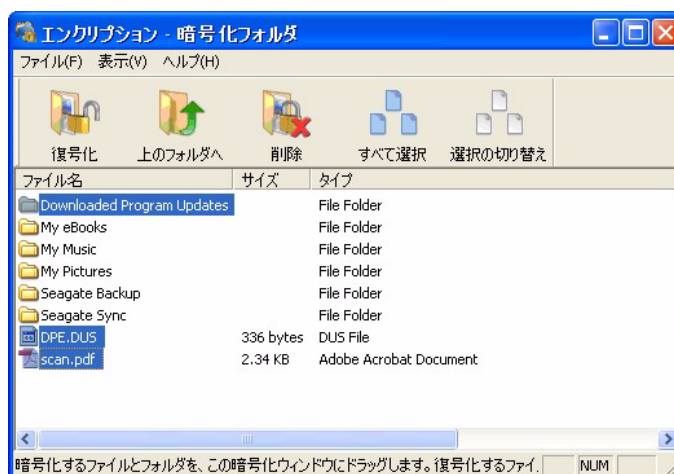


図 13: 暗号化フォルダ - ファイルの削除

【削除】警告ウィンドウが開き、ファイルの削除を確認するよう求められます。

ステップ2: 【はい】をクリックします。

選択したアイテムが暗号化フォルダから削除されます。

注: [ごみ箱] にファイルをドラッグアンドドロップして削除することもできます。ただし、フォルダはドラッグアンドドロップできないため、削除の操作を行って暗号化フォルダから削除する必要があります。

## Seagate Secure™ ストレージ デバイス

Manager ソフトウェア内で Seagate Secure ドライブが選択されている場合、ドライブの管理に別のセキュリティ機能を利用できます。

Seagate Secure ドライブではフルディスク暗号化が使用されるため、ドライブ全体とドライブ内のすべてのデータが許可のないアクセスから保護されます。



図 14: Seagate Secure ロゴ

Seagate マネージャを使用して、次の機能を実行できます。

- ドライブのロック解除
- ドライブのパスワード変更

- パスワード ヒントの設定、変更、削除
- ドライブの消去

## ドライブのロック解除

Seagate Secure ドライブは、コンピュータからドライブを切断するたびに自動的にロックされます。このロックは、Seagate マネージャ アプリケーションを使用して解除できます。Seagate マネージャ ソフトウェアがインストールされていないコンピュータの場合は、ドライブがコンピュータに接続されている状態で Seagate Secure アプリケーションを使用してロックを解除できます。

**ステップ1:** コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

**ステップ2:** Seagate Secure ドライブを選択します。

**ステップ3:** コマンド パネルの **[セキュリティ]** アイコンをクリックします。

[セキュリティ] ウィンドウが開きます。

ウィンドウに、ドライブ文字の代わりに **[ロック済み]** と表示されます。

**ステップ4:** **[ドライブのロック解除]** をクリックします。

[ロック解除] ウィンドウが開きます。

**ステップ5:** パスワードを入力し、**[ロック解除]** をクリックします。

ウィンドウが再読み込みされ、ドライブ文字が表示されます。[ドライブのロック解除] オプションがグレー表示されます。

### Seagate Secure ドライブのロック解除のヒント

パスワード入力時には、パスワードがすべて大文字でない限り、**Caps Lock** キーがオフになっていることを確認します。複数の Seagate Secure ドライブが同時に接続されている場合、ロック解除するドライブが選択されていることを確認します (選択されている場合、そのドライブの大きなライトが点滅します)。パスワードを 4 回以上誤って入力した場合は、Seagate Secure ドライブを一旦切断して再接続してから、再試行してください。また、パスワードにアルファベットの「O」または数字の「0」が含まれている場合は、正しい方を入力していることを確認します。

### Seagate Secure ドライブのロック解除後に、ドライブが見つからない場合

Seagate Secure ドライブで KeyErase 機能を使用する場合、ドライブを使用する前に、ドライブの初期化およびパーティション作成、フォーマットを実行する必要があります。新しいパスワードを作成してドライブをロック解除したら、**[Windows ディスクの管理]** ユーティリティを使用してこれらの必要手順を完了できます。これらの手順を完了すると、Windows XP の **[マイ コンピュータ]** または Windows Vista の **[コンピュータ]** ウィンドウのドライブ一覧に Seagate Secure ドライブが表示されます。詳細は、40 ページの「管理ツールの使用による、消去後の Seagate Secure ドライブのフォーマット」を参照してください。

### Seagate Secure パスワードを紛失した場合

パスワードを紛失した場合、それを回復する方法はありません。

ユーザー自身がパスワードヒントを作成した場合、パスワードを思い出すために、パスワードヒントを求めることができます。

それでも思い出せない場合、唯一の方法として、**KeyErase** 機能を使用することで **Seagate Secure** へのアクセスを回復できます。この機能を使用すると、すべてのファイルが消去され、パスワードを再設定できるようになります。

**Seagate Secure** ドライブに対して **KeyErase** 機能を実行すると、ファイルを回復することはできません (データ回復サービスを使用した場合も同様です)。 **KeyErase** 機能の実行は、最後の手段としてのみ行ってください。

## ドライブのパスワード変更

パスワードは **Seagate Secure** アプリケーションで最初に設定する必要があります。パスワードを設定した後は、**Seagate** マネージャ アプリケーションを使用して変更できます。 **Seagate** マネージャ ソフトウェアがインストールされていないコンピュータの場合は、ドライブがコンピュータに接続されている状態で **Seagate Secure** アプリケーションを使用してパスワードを変更できます。

### Seagate マネージャ アプリケーションでパスワードを変更するには

ステップ1: コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

ステップ2: **Seagate Secure** ドライブを選択します。

ステップ3: **[Seagate マネージャ]** ウィンドウの **[セキュリティ]** アイコンをクリックします。

**[セキュリティ]** ウィンドウが開きます。

ステップ4: **[パスワード変更]** をクリックします。

**[パスワード変更]** ウィンドウが開きます。

ステップ5: 現在のパスワードを入力した後、新しいパスワードを入力し、再入力します。

ステップ6: **[設定]** をクリックします。

新しいパスワードが正しく設定されたことを告げるメッセージが表示されます。

ステップ7: **[終了]** をクリックして **[セキュリティ]** ウィンドウに戻るか、**[パスワード ヒントの設定]** をクリックして、パスワード ヒントを設定します。

## パスワード ヒントの使用

**Seagate Secure** ドライブを使用して、パスワードを思い出すためのヒントを設定できます。また、パスワード ヒントを取得するために回答する必要のあるセキュリティの質問を使用し、そのパスワードを保護することもできます。パスワード ヒントはいつでも削除または変更できます。

注: パスワード ヒントを設定または変更、削除するには、**Seagate Secure** ドライブ ラベルに印刷されている 25 文字の ID コードを入力する必要があります。

## パスワード ヒントの設定ウィンドウを開く

次の 3 つのウィンドウから **[パスワード ヒントの設定]** ウィンドウを開くことができます。

- [ドライブのロック解除] ウィンドウ
  - (a) [ドライブのロック解除] ウィンドウの [ヒント] をクリックします。  
パスワード ヒントが設定されていない場合、パスワードのヒントが設定されていないことを告げるウィンドウが開きます。
  - (b) [パスワード ヒントの設定] をクリックします。
- [パスワード変更] ウィンドウ
  - (a) [パスワード変更] ウィンドウで新しいパスワードを設定します。
  - (b) [パスワードの設定] ウィンドウの [パスワード ヒントの設定] をクリックします。
- [その他の機能] ウィンドウ  
[その他の機能] ウィンドウの [パスワード ヒントの設定 / 変更 / 削除] をクリックします。

## パスワード ヒントの設定

### パスワード ヒントを設定するには

- ステップ1: [パスワード ヒントの設定] ウィンドウを開きます。  
[パスワード ヒントの設定] ウィンドウが開きます。
- ステップ2: ドロップダウン リストからセキュリティの質問を選択するか、独自の質問を作成します。
- ステップ3: セキュリティの質問に対する回答を入力します。
- ステップ4: パスワードを忘れた場合に思い出すのに役立つヒントを入力します。
- ステップ5: [設定] をクリックします。  
新しいパスワード ヒントが設定されたというメッセージが表示されます。
- ステップ6: [OK] をクリックして [セキュリティ] ウィンドウに戻ります。

## パスワード ヒントの変更

### パスワード ヒントを変更するには

- ステップ1: コマンド パネルの [マイ ドライブ] をクリックします。
- ステップ2: Seagate Secure ドライブを選択します。
- ステップ3: コマンド パネルの [セキュリティ] アイコンをクリックします。  
[セキュリティ] ウィンドウが開きます。
- ステップ4: [パスワード ヒントの設定 / 削除] をクリックします。  
すでに設定されているパスワード ヒントを削除するか、新しいパスワード ヒントに変更するかを問うメッセージが表示されます。
- ステップ5: [上書き] をクリックします。  
[パスワード ヒントの設定] ウィンドウが開きます。
- ステップ6: ドロップダウン リストからセキュリティの質問を選択するか、独自の質問を作成します。

- ステップ7: セキュリティの質問に対する回答を入力します。
- ステップ8: パスワードを忘れた場合に思い出すのに役立つヒントを入力します。
- ステップ9: ドライブ ラベルに印刷されている 25 文字の ID コードを入力します。
- ステップ10: **【設定】**をクリックします。
- 新しいパスワード ヒントが設定されたというメッセージが表示されます。

## パスワード ヒントの削除

パスワード ヒントを削除するには

- ステップ1: コマンド パネルの **【マイ ドライブ】**をクリックします。
- ステップ2: **Seagate Secure** ドライブを選択します。
- ステップ3: コマンド パネルの **【セキュリティ】**アイコンをクリックします。
- 【セキュリティ】**ウィンドウが開きます。
- ステップ4: **【パスワード ヒントの設定 / 削除】**をクリックします。
- すでに設定されているパスワード ヒントを削除するか、新しいパスワード ヒントに変更するかを問うメッセージが表示されます。
- ステップ5: **【削除】**をクリックします。
- 【パスワード ヒントの削除】**ウィンドウが開きます。
- ステップ6: ドライブ ラベルに印刷されている 25 文字の ID コードを入力します。
- ステップ7: **【パスワード ヒントの削除】**をクリックします。
- パスワード ヒントが削除されたというメッセージが表示されます。
- ステップ8: **【OK】**をクリックして **【セキュリティ】**ウィンドウに戻ります。
- パスワード設定の手順に従って、いつでも新しいパスワードを設定できます。

## パスワード ヒントの取得

パスワード ヒントを取得するには

- ステップ1: コマンド パネルの **【マイ ドライブ】**をクリックします。
- ステップ2: **Seagate Secure** ドライブを選択します。
- ステップ3: コマンド パネルの **【セキュリティ】**アイコンをクリックします。
- ロックされたドライブの **【セキュリティ】**ウィンドウが開きます。
- ステップ4: **【ドライブのロック解除】**をクリックします。
- 【ロック解除】**ウィンドウが開きます。
- ステップ5: **【ヒント】**をクリックします。
- 【パスワード ヒントの取得】**ウィンドウが開きます。
- ステップ6: パスワード ヒントを設定した際に選択したセキュリティの質問に対する回答を入力し、**【ヒントの表示】**をクリックします。
- 【パスワード ヒント】**ウィンドウにパスワード ヒントが表示されます。


**ステップ7:** **[終了]**をクリックして**[ロック解除]**ウィンドウに戻り、パスワードを入力します。

パスワード ヒントを読んでもパスワードを思い出せない場合、ドライブを継続して使用するには、**Seagate Secure** ドライブを消去する必要があります。ドライブの消去は、デスクトップの **Seagate** マネージャ アプリケーションでのみ実行できます。

この特殊なレベルの機能は、ドライブが意図しない第三者の手に渡った場合に、貴重なデータが盗まれないようにするために提供されています。

**注:** **Seagate Secure** ドライブの消去については、**39** ページの「**ドライブの消去**」を参照してください。

## ドライブの消去

パスワードを忘れて **Seagate Secure** ドライブをロック解除できない場合にドライブを継続して使用するには、**KeyErase** 鍵  を使用して安全にドライブを削除するしかありません。**KeyErase** によってドライブが消去されると、ドライブの暗号化キーが再作成されます。

**注:** **Seagate Secure** ドライブは、ロックされている場合にのみ消去できます。

### Seagate Secure ドライブを消去するには

**ステップ1:** コマンド パネルの **[マイ ドライブ]** をクリックします。

**ステップ2:** **Seagate Secure** ドライブを選択します。

**ステップ3:** **[Seagate マネージャ]** ウィンドウの **[セキュリティ]** アイコンをクリックします。

ロックされた **[セキュリティ]** ウィンドウが開きます。

**ステップ4:** **[その他の機能 ...]** ボタンをクリックします。

**[その他の機能]** ウィンドウが開きます。

**ステップ5:** **[KeyErase 鍵]** をクリックすると **[KeyErase]** ウィンドウが開きます。

**ステップ6:** 警告情報を読み、**[次へ]** をクリックします。

2 つ目の **[KeyErase]** ウィンドウが開きます。

**ステップ7:** 消去するドライブでセキュリティ LED が点滅していることを確認します。

**ステップ8:** ドライブ ラベルに印刷されている 25 文字の ID コードを入力します。

**ステップ9:** **[ドライブ消去]** をクリックします。

ドライブが消去されると、**[ドライブの設定]** ウィンドウが開きます。ドライブの消去には数分を要します。

## 消去した Seagate Secure ドライブの設定

ドライブを消去したら、そのドライブを構成し、ドライブのパスワードを設定する必要があります。

ドライブを構成するには

**ステップ1:** ドライブ ラベルに印刷されている 25 文字の ID コードを入力します。

**ステップ2:** 新しいパスワードを入力し、確認のために再度入力します。

パスワードの長さは、6 ～ 32 文字である必要があります。

**ステップ3:** **[設定]** をクリックします。

パスワードが正しく設定されたというメッセージが表示され、パスワード ヒントを設定するオプションが表示されます。

**ステップ4:** **[終了]** をクリックして **[パスワードの設定]** ウィンドウを閉じるか、**[パスワード ヒントの設定]** をクリックしてパスワード ヒントを作成します。

**注:** パスワードの設定については、37 ページの「パスワード ヒントの設定」を参照してください。

**[ロック解除]** ウィンドウが開きます。

**ステップ5:** パスワードを入力し、**[ロック解除]** をクリックします。

**ステップ6:** **[ロック解除]** ウィンドウが閉じます。しばらくすると、**[Seagate ドライブのフォーマット]** ウィンドウが開きます。

**注:** **[Seagate ドライブのフォーマット]** ウィンドウが開くまで、1 分ほどかかる場合があります。

**ステップ7:** **[フォーマット]** をクリックして、ドライブを使用できるように再フォーマットします。

**[フォーマット]** 確認ウィンドウが開きます。Seagate Secure ドライブ上のすべてのデータが消去されているため、データを改めて消去する必要はありません。

**ステップ8:** **[フォーマット]** をクリックします。

フォーマットの進行状況が表示されます。

フォーマットが正常に実行されたことを示すメッセージが表示されます。

フォーマットに失敗した場合は、パーティションを作成できなかったという内容のメッセージが表示されます。

**ステップ9:** **[パーティションの作成に失敗しました]** というウィンドウを閉じます。

Seagate Secure ドライブを継続して使用するには、管理ツールを使用してパーティションを作成する必要があります。

## 管理ツールの使用による、消去後の Seagate Secure ドライブのフォーマット

**[Seagate ドライブのフォーマット]** ウィンドウを使用して Seagate Secure ドライブを自動フォーマットできない場合にドライブを継続して使用するには、Windows オペレーティングシステムの管理ツールを使用して、手動でパーティションを作成する必要があります。

管理ツールを使用して、手動でパーティションを作成するには

**ステップ1:** **[スタート]>[名前を指定して実行]** の順に選択し、**[名前を指定して実行]** ウィンドウを開きます。



ステップ2: 「**diskmgmt.msc**」と入力し、**[OK]** をクリックします。

[ ディスクの管理 ] ウィンドウが開きます。

**Seagate Secure** ドライブは正しくフォーマットされていないため、「未割り当て」とラベル表示されています。

ステップ3: 「未割り当て」バーの任意の場所で右クリックし、**[ 新しいパーティション ... ]** を選択します。

[ 新しいパーティション ] ウィザードが自動的に開きます。

ステップ4: [ 新しいパーティション ] ウィザードの手順に従って **Seagate Secure** ドライブをフォーマットし、再利用できるように準備します。

これで、**Seagate Secure** ドライブの設定が完了し、使用の準備ができました。

# 索引

## F

FreeAgent デバイス

管理 6

ソフトウェア 3

FreeAgent ドライブ ライト 5

## K

KeyErase 37

## L

LED 5

LED 制御 9

## S

Seagate Secure 32

Seagate Secure ドライブ

消去 37

Seagate ステータス アイコン

再表示 5

Seagate マネージャ ソフトウェアの機能 3

Sync

カスタム 19

完了 21

自動 23

シンプル 19

ステータスの確認 22

Sync 暗号化 21

Sync ステータスの確認 22

Sync 設定

編集 22

Sync 設定の編集 22

Sync の完了 21

[Sync プレビュー] ウィンドウ 24

## あ

アイコン、Seagate マネージャ 4

色 4

タスクバー 4

タスクバーへの再表示 5

空きスペース 9

アップデート、ソフトウェア 8

暗号化 26

概要 26

同期ファイル 21

パスワード 10

フォルダ 26

暗号化パスワード、変更 28

暗号化フォルダ 10

管理 28

削除 29

作成 26

開く 30

ファイルとフォルダの削除 31

## か

過去のバージョンのファイルの復元 17

カスタム Sync 19

カスタム Sync、概要 18

カスタム バックアップ 11

## こ

コピー 10

暗号化処理 26

コマンド パネル 6

## さ

再表示

Seagate ステータス アイコン 5

概要 10

過去のバージョン 17

ファイルの最新バージョン 17

削除

暗号化ファイル 26

同期ファイル 23

## し

自動 Sync 23

自動 Sync の無効化 23

自動上書き 25

手動バックアップ 16

省エネ 7

消去したドライブ、設定 37

消去したドライブ、フォーマット 38

シンプル Sync、概要 18, 19

シンプル バックアップ 11

## す

スタートメニュー

Seagate ステータス アイコン 5

ステータス

Sync 22

色の意味 4

ドライブ 4

## せ

セキュリティ 26

概要 26

バックアップ中のセキュリティ 10

節電 7

## そ

ソフトウェアのアップデート 8

## て

電源設定 7

## と

同期

Sync も参照

同期

概要 18

フォルダ 18

同期ファイルのプレビュー 24

ドライブ

ローテーション 13

Seagate Secure 32

管理 6

情報 9

テスト 8

複数のドライブへのバックアップ 13

[マイ ドライブ] ウィンドウに表示 6

ロック解除 33

ドライブ、消去 37

ドライブ情報機能 9

ドライブの消去 37

ドライブのテスト 8

ドライブ ライト 9

ドライブ ローテーション 13

## は

パスワード 35

Seagate Secure 33

Seagate Secure ドライブのパスワード変更 34

Sync 暗号化 21

暗号化 28

暗号化フォルダのパスワード変更 28

パスワード ヒント 34, 35

削除 36

取得 36

変更 35

バックアップ

概要 10

カスタム 11

手動 16

シンプル 11

スケジュール 15

バックアップ機能、Seagate マネージャ 10

バックアップ設定

管理 14

編集 14

バックアップの予定 15

バックアップ プラン

概要 11

カスタム 12

削除 15

シンプル 3, 11

ドライブ ローテーション 11, 13

予定 15

バックアップ ログ 16

## ひ

ヒント、パスワード 34, 35, 36

## ふ

ファイル、古いバージョンの上書き 25

ファイル拡張子 20

ファイル システム 9

ファイルの最近のバージョン

再表示 17

ファイルの種類、同期 20

フォルダ

同期

フォルダ、同期 18

復号化 30

ほ

ボリューム 9

ま

[マイ ドライブ] ウィンドウ

電源設定 7

マネージャ 6

よ

容量 9

ら

ライト

FreeAgent ドライブ ライト 5

ライト、FreeAgent ドライブ 5